

みやこじま青少年国際音楽祭

主催 みやこじま青少年国際音楽祭実行委員会

Hosted : The 4th Miyakojima Youth International Music Festival Committee

共催 宮古島市 宮古島市教育委員会 琉球新報社 日本弦楽指導者協会沖縄県支部


Co-hosted : Miyakojima City Government, The Ryukyu Sinpo, Japan String Teachers Association

特別協賛  **JTA** 日本トランスオーシャン航空



宮古島の雪塩



 宮古島 東急ホテル&リゾート

助成 芸術文化振興基金 国際交流基金アジアセンターアジア・市民交流助成

日本音楽財団（日本財団助成事業） 公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団

公益財団法人ローム ミュージック ファンデーション

特定非営利活動法人イエロー・エンジェル



芸術文化振興基金助成事業



ごあいさつ

みやこじま青少年国際音楽祭実行委員会会長 宮古島市長 下地 敏彦
President of Miyakojima Youth International Music Festival Committee,
The Mayor of Miyakojima Toshihiko Shimoji



宮古島市には音楽に親しむ土壌があり、ジュニアオーケストラが活動する日本最南端の島でもあります。この音楽祭を通じ、国内外の一流演奏家やジュニアオーケストラがたくさん集まり、素晴らしい音楽を聴き、共に演奏し、学ぶ機会としての音楽祭を創っていきます。

宮古島を国際交流を通じたジュニアオーケストラのメッカにします。

この音楽祭は、音楽文化を通じて、子どもたちの感性を育み、強く生きる力を育てる効果があるだけでなく、行政と民間、子どもたちと大人たちが一体となって取り組むことにより地域文化発展の大きな力となることでしよう。

同時に島外、そして海外からの参加者のみなさんに、宮古に関する関心を喚起できるだけでなく、実際の社会的な話題性の高まりや経済的効果なども十分に期待できるものと思われま。

どうか、最後までごゆっくりお楽しみください。

ごあいさつ

日本弦楽指導者協会理事・沖縄県支部長 音楽祭実行委員会副会長 天野 誠
Vice President of Committee
Director of Japan String Teachers Association Makoto Amano



みやこじま青少年国際音楽祭は、過去3年間に、巨匠イヴリー・ギトリス氏を2回、台湾を代表するチェロ奏者陳建安先生、ドイツ連邦共和国マンハイム青少年オーケストラなどを招き開催されました。

また、昨年3月には音楽祭の一環として、マンハイム市立音楽学校の招きでドイツ連邦共和国とフランス共和国を訪問し、ギトリス氏やマンハイム青少年オーケストラと共演、国際交流を深めることができました。

そして、今回は、「ヴァイオリンの女王」と称されるサラ・チャン氏、最難関コンクールを最年少で優勝した世界の若手ヴァイオリニストを代表する三浦文彰氏、日本フィルソロコンサートマスター木野雅之氏、昨年に引き続き台湾を代表するチェロ奏者陳建安氏、東京都交響楽団チェロ首席奏者の古川展生氏といった超豪華な独奏者と、日本を代表する演奏家の皆様を首席奏者にお迎えした宮古島市ジュニアオーケストラとマレーシア・フィルハーモニー青少年管弦楽団とタイ王国と台湾の青少年演奏家の合同オーケストラの共演をお聴きいただきます。

この音楽祭の目的は3つです。

第一に、宮古島の子どもたちに「本物」に触れてもらうこと。本物は、人々の心にダイレクトに響きます。

第二に、大人たちが力を合わせれば、東京から2,000km・人口53,000人の島でも何でもできることを子どもたちに伝えていくこと。

第三に、表現力に恵まれたこの島の子どもたちを、音楽・演劇・伝統芸能などの芸術を通じて自らがこの島に生まれ育つ喜びを表現することの素晴らしさを知り、島の内外にそれを発信し続けていく担い手に育てることで。それは、17歳で島外に旅立つとき、その子の大きな力となることでしよう。

「優しさ」と「美しい海」に囲まれて育った子どもたち。知らず知らずのうちに「強く生きる力」を身に付けています。この生き方こそが、今のこの国の状況を良い方向に導くのだと思います。そのことを、子どもたちとトップアーティストたちと、今日のステージで表現できることができて幸せです。

「自分の心を表現する」という芸術の本来の姿が客席に届き、終演後お帰りになるときに、ご来場の皆さまが、同じ幸せに包まれることを願っています。

プログラム

チゴイナーweisen (サラサーテ) Zigeunerweisen by Sarasate
ヴァイオリン 木野雅之 Violin Masayuki Kino

協奏曲集「四季」より (ヴィヴァルディ) Four Seasons by Vivaldi
「春」第1楽章 「夏」第1楽章 「秋」第1楽章 第3楽章 「冬」第1楽章 第2楽章 第3楽章
ヴァイオリン サラ・チャン Violin Sarah Chang

空手演武 Karate Dance
近藤花音 Kanon Kondo

沖縄宮古島組曲 各国の演奏
Miyakojima Suite Performance of country

エレジー (フォーレ) Élegie by Fauré
チェロ 陳建安 Cello Chen Cheng

序奏とロンドカプリチオーソ (サンサーンス) Introduction and Rondo capriccioso by Saint-Saëns
ヴァイオリン 三浦文彰 Violin Fumiaki Miura

リベルタンゴ (ピアソラ) Libertango by Piazzolla
チェロ 古川展生 Cello Nobuo Furukawa

ヴァイオリンとチェロのための協奏曲 (ヴィヴァルディ) Concerto for Violin and Cello by Vivaldi
第1楽章 第2楽章 第3楽章
ヴァイオリン 三浦文彰 チェロ 古川展生 Violin Fumiaki Miura Cello Nobuo Furukawa

弦楽セレナーデ (チャイコフスキー) 第1楽章 Serenade for Strings in C-major 1 mvt. by Tchaikovsky

ホルベルグ組曲 (グリーグ) 前奏曲 Holberg Suite 1 mvt. by Grieg

宮古島市ジュニアオーケストラ Miyakojima City Junior Orchestra
マレーシア・フィルハーモニー青少年管弦楽団 Malaysia Philharmonic Youth Orchestra
タイ王国の青少年演奏家 Youth players in Kingdom of Thailand
台湾の青少年演奏家 Youth players in Taiwan

指揮 天野 誠 Conductor Makoto Amano

プロフィール

サラ・チャン (ヴァイオリン)



Sarah Chang 1980年フィラデルフィア生まれ。4歳でヴァイオリンを始め驚くべき上達を見せて6歳で名門ジュリアード音楽院に合格、ドロシー・ディレイに師事する。8歳でメータ指揮ニューヨーク・フィルでデビュー、同年ムーティ指揮フィラデルフィア管弦楽団と共演した。10歳でEMIクラシックでCDデビューしたが、これは11歳でファーストアルバムがリリースされたハイフェッツを上回る史上最年少記録である。これらの実績によりメニューインに「私を知る限り最も素晴らしく、最も完成され、最も理想的なヴァイオリニスト」と評された。

世界各国の主要オーケストラとその後も共演を重ね、ウィーン・フィル、ベルリン・フィルをはじめ近年ではロンドン交響楽団、ロサンゼルスフィル、ワシントン・ナショナル交響楽団、フィラデルフィア管弦楽団、ロイヤル・フィル、チェコフィル、ロッテルダム・フィル、サンクトペテルブルク・フィル等と共演。その他ノルウェー、ルーマニア、オーストリア、カナダ、ポーランド、デンマーク等でリサイタルを開催。室内楽でもこれまでにズッカーマン、サヴァリッシュ、ブロンフマン、アンスネス、ヨーヨー・マ、スターンやベルリンフィルのメンバーと共演している。

受賞歴も多岐にわたっており、1993年ドイツ・グラモフォン「ヤングアーティストオブザイヤー」、99年エイヴリー・フィッシャー賞、ドイツのエコー賞レコード大賞をはじめ、2006年にはニューズウィークの「20人のトップ女性」に、また08年WEFのヤング・グローバル・リーダーに選出。11年アメリカ大使館の芸術大使任命、12年ハーバード大学による芸術賞等を受賞している。

使用楽器は1717年ガアルネリ・デル・ジェス。

を、後にチム・タウブに室内楽を学んだ。イヴリー・ギトリスをはじめ、マキシム・ヴェンゲーロフ、ミッシャ・マイルスキー、ワディム・レーピン、五嶋みどり、またベルリンフィル、イスラエルフィル等世界中の著名なソリストやオーケストラと共演するほか、ザルツブルグ、ヴェルビエ、ルツェルン等の国際音楽祭にも頻りに出演しており、室内楽奏者として輝かしいキャリアを歩んでいる。ドイツ・グラモフォン、テルデック、EMI、ソニークラシカルなどといったレーベルで録音多数。現在はパリ音楽院で教える傍ら室内楽、演奏旅行、そして詩作等の芸術活動を行っている。

三浦文彰 (ヴァイオリン)



三浦文彰は、2009年世界最難関とも言われるハノーファー国際コンクールにおいて、史上最年少の16歳で優勝。国際的に大きな話題となった。東京都出身。両親ともにヴァイオリニストの音楽一家に生まれ、3歳よりヴァイオリンを始め安田廣務氏に、6歳から徳永二男氏に師事。2003年、04年と全日本学生音楽コンクール東京大会小学校の部第2位。2006年4月、ユーディ・メニューイン国際ヴァイオリンコンクール・ジュニア部門第2位。

2009年10月、ハノーファー国際コンクールにて史上最年少で優勝。同時に、聴衆賞、音楽評論家賞も受賞。地元紙では「確かな技術と、印象的なヴィルトゥオーソ性あふれる心温まる演奏は、国際審査員や音楽評論家の評価を得るにとどまらず、聴衆の心をもつかんだ」と賞賛した。また、The Strad誌は、「驚くべきその演奏はハノーファー国際コンクールのすべてを吸い取った」と評した。これまでに、モスクワにてオレグ・カガンメモリアルフェスティバル、ブラウンシュバイクフェスティバル、宮崎国際音楽祭、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭、マントン音楽祭、ラクリン&フレンズ音楽祭、メニューイン・フェスティバルなどに出演。

国内主要オーケストラはもとより、ハンブルク北ドイツ放送交響楽団、ミルウォーキー響、オレゴン響、ユタ響、ウィーン室内管、ニュルンベルク響などとも共演し、国際的な活動を展開している。

2012年には、プラハ・フィルとの日本ツアー、2013年4月にはシュトゥットガルト放送響との東京公演を行った。2013年は、ベンデレツキ80歳記念演奏会にも出演。2014年は、ルーブルでのリサイタルでパリ・デビューを果たし、ローザンヌ室内管、モントリオール室内管との共演も大好評を博した。

2015年9月には、リントウ指揮ベルリン・ドイツ響との共演を得て、チャイコフスキーとメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲を収録し、エイベックスよりリリース。最新CDは、2016年にリリースした「名曲コレクション」。

2016年NHK大河ドラマ「真田丸」テーマ音楽のヴァイオリン・ソロを演奏。

2009年度第20回出光音楽賞受賞。

これまでに、ザハール・ブロン、ジャン=ジャック・カントロフ、チョーリヤン・リン、パヴェル・ヴェルニコフの各氏に師事。(公財) 明治安田生命クオリティオブライフ文化財団より奨学金を得て、ウィーン私立音楽大学に入学、パヴェル・ヴェルニコフ氏、ジュリアン・ラクリン氏のもとで研鑽を積んだ。

使用しているヴァイオリンは、宗次コレクションより貸与されたストラディヴァリウス 1704年製作 "Viotti"、ヴィオラは日本ヴァイオリンより貸与された1780年製ストリオーニスクール Ex-Rachlinである。

木野 雅之(ヴァイオリン)



(C)明石一

桐朋学園を経て、1982年ロンドンのギルドホール音楽院に学び、名匠イフラ・ニーマン教授に師事する。音楽院卒業後、ナタン・ミルシュタイン、ルッジエーロ・リッチ、イヴリー・ギトリス等3人の巨匠に師事し研鑽を積む。

1984年、ロンドンで開催されたカール・フレッシュ国際ヴァイオリン・コンクールや、85年パリでのメニューイン国際コンクールで、サロン音楽特別賞を受賞、87年には『ロイヤルオーケストラ協会シルバーメダル』（英国）を授与されロンドン記念演奏会を行った。

英国を拠点にコンサート活動を行っており、ロイヤル・フィル、ベルリン響、ポーランド国立放送響、モスクワ放送響など数多くのオーケストラと共演。

また、サンレモ、オールドバラ等国際音楽祭への参加も多く、RTSI（スイス）のテレビ・ラジオに出演、海外での活躍もさかんに行われている。名古屋フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターを経て、93年4月より日本フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターに、02年7月よりソロ・コンサートマスターに就任。2001年には、コンサート「パガニーニの魅力」を開き、テレビ朝日ブロードバンド・ライブサイトにて放映された。2003年7月にはフランス・カシス音楽祭にてイヴリー・ギトリス、ルッジエーロ・リッチ、マルタ・アルゲリッチと共演。2007年より球磨川音楽祭の音楽監督を務める。

世界各地でのマスタークラスを始め、東京音楽大学教授、桐朋学園大学、武蔵野音楽大学の講師として後進の指導にあたっている。オクタヴィア・レコード他より多数のCDが発売されており、いずれも高い評価を得ている。使用楽器は恩師リッチから譲り受けた1776年製ロレンツォ・ストリオニ。日本弦楽指導者協会理事。

陳 建安 (チェロ)



音楽家一家のもとに生まれ、幼い頃より父、陳運通からチェロの手ほどきを受けて育つ。七歳ではその音楽の才能がゆえ、台湾の元中華民国総統、蒋介石の前で演奏する栄誉を得て、その模様は国営テレビでも放映される。また、9歳で台北に移り1970年に台湾省と台北市の双方の音楽コンクールのチェロ部門で同時に優勝を勝ち取る。翌年、台湾政府より「天才児童」として支援を受け日本へ渡り、チェリストの斉藤秀雄の指導を受け、14歳で最年少で桐朋音楽大学へ入学し、青木十良教授に師事。

卒業後、アメリカの音楽学院（Peabody Institute of Johns Hopkins University）に最優秀奨学生として留学、スティーブン・ケイツ氏に師事後、テキサス州ライス大学（Shepherd School of Music of Rice University）にてシャーリー・トゥレベル氏に師事、大学楽団の首席として協奏曲コンクールで優秀賞を獲得。1986年に参加したアスペン国際音楽フェスティバルでは、現代で最も権威のあるチェロマスター、ガボール・レイト氏より南カリフォルニア大学へ個人アシスタントとしての招待を受け、最後の弟子として1990年に演奏家としての卒業証書を取得した。その後、陳はミシガン州インターロックン国際音楽祭やスイスのヒンデミット音楽センターなどで教える。1986年にはロストロポーヴィチによりアメリカの5人の若手優秀チェリストの1人として選ばれた。

20世紀で最も権威のあるとされる巨匠の指導を受け、室内楽は、東京カルテット、クレーブランドカルテット、ピアニストのレオン・フライシャー氏、ヴァイオリニストのペルル・セノフスキー氏、フェリックス・ガリミール氏、指揮者のベンジャミン・ゼンダー氏より学ぶ。

ワシントンD.C.のジョン・F・ケネディ・センターや、シンガポールのヴィクトリア・コンサートホールでの公演など、長年に渡り積極的に世界各地でソロや室内楽のコンサートに出演する。他にも、ヴァイオリニストの林昭亮氏や、張萬鈞氏、ピアニストのジュリアン・マーティン氏、ジョナサン・シャムス氏、ドミニク・ウェバー氏、ギルバート・カリシュ氏、セイモー・リップキン氏、及び白建宇氏など、数々の有名な音楽家と共演。

2000年には本格的に帰国し室内楽やチェロの指導にあたる。主要な音楽祭や式典、テレビなど、至る所で彼の名を見ることが出来ます。2001～2010年 国立交通大学音楽研究所就任。2004～2007年 国立嘉義大学音楽科就任。2006年に47回「中国文芸協会文芸メダル」で優秀音楽演奏賞を受賞。2007年に上海音楽学院のチェロ科の教授として赴任、創立80周年記念行事に携わる。現在、国立中央大学弦楽団の指揮、奇美芸術賞音楽部門審査員、台湾国際沛忠文化教育基金取締役、台北フィルハーモニック・オーケストラや杭州フィルハーモニック・オーケストラの客演チェロ首席奏者として活躍する。

古川 展生 (チェロ)



(C)Yuji Hori

桐朋学園大学卒業。チェロを故・井上頼豊、秋津智承、林峰男の各氏に師事。

1995年第64回日本音楽コンクールチェロ部門第2位入賞。96年、ハンガリーのリスト音楽院に留学。97年第27回マルクノイキルヘン国際コンクール（ドイツ）チェロ部門にてディプロマ賞受賞。98年帰国後、東京都交響楽団首席チェロ奏者に就任、現在に至る。

2003年第2回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。11年第31回藤堂頭一郎音楽褒賞受賞。13年第31回京都府文化賞奨励賞受賞。10年より、桐朋学園大学にて非常勤講師として勤務。

ソリストとしても、ハンガリー/ソルノク市立交響楽団の定期演奏会に招かれるなど、国内外のオーケストラ、著名指揮者との共演多数。また、他ジャンルのアーティストとのコラボレーションも積極的に行うなど、クラシックにとどまらず幅広いフィールドでも目覚ましい活躍を続け、人気、実力ともに各方面から最も注目を集めているチェリストである。

07年には、藤原道山（尺八）、妹尾武（ピアノ）とユニット「KOBUDO・古武道」を結成。

14年にデビュー15周年を迎え、ソニー・ミュージックダイレクトより「GENTLE SOULS」および「BACH無伴奏チェロ組曲全曲」の記念アルバムを2枚リリースした。

岡田 光樹 (ヴァイオリン首席)



東京芸術大学音楽学部を卒業。スカラシップを得て英国王立音楽院演奏家コース修了。
英国王立音楽院より“W. Parry Prize”最高位、ベートーヴェン作品の演奏に対して特別賞を授与される。
芸大在学中のデビュー以降、ドイツ、フランスにて協奏曲やリサイタル・デビュー。
帰国後、東京フィル、新星日響、神奈川フィル等にコンサートマスターや首席奏者として出演。
沖縄県立芸術大学准教授。日本弦楽指導者協会正会員。

天野智美 (ヴァイオリン首席)



才能教育音楽学校でスズキメソッドの創始者故鈴木鎮一氏に師事。スズキメソッドのトップメンバーを集めたオーケストラでコンサートマスターとして、ドイツ民主共和国(旧東ドイツ)に演奏旅行。ベルリン国際音楽祭に出演。
2007年に夫誠と共に宮古島に移住。文化庁芸術家派遣事業などで島内の40か所以上の保幼小中高で演奏・講話・授業を行う。08年それらを母体に「宮古島市ジュニアオーケストラ」を設立。日本弦楽指導者協会正会員。

立木 茂 (ヴィオラ首席)



ベルリンのカラヤンアカデミーでベルリンフィル首席ヴィオラ奏者のJ. カッポーネに師事、その後パリでB. パスキエのもとで学ぶ。
ドイツ国内のオーケストラで活動した後、ブラジルのブラジリア音楽院で7年間教授を務める。その間、ブラジリア国立交響楽団首席ヴィオラ奏者等を歴任。
メキシコシティで黒沼ユリ子音楽院の副校長を務め、同時に、黒沼ユリ子弦楽トリオのメンバーとして世界各地で演奏活動を行う。
日本弦楽指導者協会理事長。

長南 牧人 (チェロ首席)



東京音楽大学付属高校時代、巨匠アンドレ・ナヴァラにその才能を認められる。
翌年、渡仏し、パリ・エコール・ノルマル音楽院に入学、故レーヌ・フラショー女史に師事。
演奏者資格卒業コンクール第二位。
優秀な成績でチェロ演奏家ディプロムと室内楽ディプロムを取得。
帰国後、東京芸術大学音楽学部器楽科に入学。
財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団副首席奏者。
特に室内楽奏者として定評があり、東京とパリをはじめ各地での演奏会に多数出演している。日本弦楽指導者協会正会員。

ニティット・ナバラット Nithit Navarat



音楽祭のアシスタント・ミュージック・ディレクター、タイ王国からの生徒たちの責任者
Assistant music director and representative from the Kingdom of Thailand

洪薇婷 Hung,Wei-Ting



チェロ奏者 台湾からの生徒たちの責任者
Cellist, representative from Taiwan

宮古島市ジュニアオーケストラ Miyakojima City Junior Orchestra



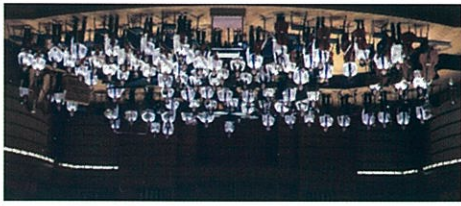
4才から20才までの宮古島市在住並びに宮古島市出身の児童生徒40名で組織されている。
地元宮古島市マティダ市民劇場を本拠地とし、世界的巨匠イヴリー・ギトリス氏・木野雅之氏(日本フィルハーモニー交響楽団ソロコンサートマスター)・ドイツ連邦共和国マンハイム青少年管弦楽団他を招き共演・指導を受ける。

また、16年3月には三井住友海上文化財団の助成を受け、ドイツ・フランスに演奏旅行を行い、ギトリスやマンハイム青少年管弦楽団と共演した。

その他、国立オリンピック記念青少年総合センター大ホール(東京)・武蔵野市民文化会館(東京)・沖縄平和祈念堂・沖縄県立芸術大学奏楽堂・那覇市パレット市民劇場・石垣市民会館で、沖縄や東京で音楽を学ぶ子どもたちと一緒にコンサートを開催するなど、幅広い活動を行っている。

宮古島市ジュニアオーケストラ団員も首席、副主席を務める予定です。

マレーシア・フィルハーモニー青少年オーケストラ Malaysian Philharmonic Youth Orchestra



マレーシアの国営石油公社ペトロナスによって運営される「マレーシア・フィルハーモニー管弦楽団」の青少年育成部門として、2006年に創立。

500人の若い音楽家から選ばれた平均18歳の110人によって構成される。

ペトロナスツインタワー（20世紀の超高層ビルとしては世界で最も高い452m・88階建て）内にあるフィルハーモニー・ペトロナスホールを本拠地とし活発に演奏会を開催する他、オーストラリア・シンガポール大学・西マレーシア・サバ・サラワク・ペナン・クアンタンなどに演奏旅行をしている。

ニティット・ナバラット教授の選抜したタイ王国の青少年演奏家

Youth players from Kingdom of Thailand selected by professor Nithit Navarat and Kamolmas Charoensook

陳建安教授・洪薇婷教授の選抜した台湾の青少年演奏家達

Youth players from Taiwan selected by Professor Chien-an Chen and Hung,Wei-Ting



天野 誠（指揮）



1959年東京生まれ。4歳よりヴァイオリンを始める。ヴァイオリンをスズキメソッドの創始者、鈴木鎮一氏に師事。指揮法を東京交響楽団正指揮者、堤俊作氏に師事。80年、ユース・シンフォニー・オブ・ジャパンのフォアシュピラーとして、スイス、旧ユーゴスラビアなどに演奏旅行、また、ベオグラードで行われた国際音楽祭に出演、好評を博す。

日本武道館で全国から3000名の生徒たちを集めて行われたコンサートで天皇后陛下をお迎えし指揮したのを始め、バイオリニストのイヴリー・ギトリス、木野雅之、葉加瀬太郎氏などとも数多く共演している。また、全国各地の弦楽合奏団の演奏会での指揮やサマースクールなどで指導育成に当たっている。

2007年に妻智美と共に宮古島に移住。文化庁芸術家派遣事業などで島内のべ40か所以上の保幼小中高で演奏・講話・授業を行う。08年それらを母体に「宮古島市ジュニアオーケストラ」を設立。

2013年には、第71回日本弦楽指導者協会全国大会を宮古島で開催。（沖縄県内初。九州沖縄地方では、北九州市に続いて2回目の開催。）実行委員長を務める。延2000名以上が参加する。

2014年・15年には、宮古島市と共働し、巨匠イヴリー・ギトリス（14年・15年）、ドイツ連邦共和国マンハイム市立音楽学校青少年オーケストラを宮古島に招聘し、みやこじま青少年国際音楽祭を開催、実行委員会副会長を務める。（会長は宮古島市長）

また、2016年3月には宮古島市ジュニアオーケストラヨーロッパ演奏旅行団長として団員40名を引率し、ハイデルベルグ大学・マンハイム市立音楽学校・サンポール大聖堂（ストラスブルク市）で演奏会を開催、イヴリー・ギトリスやマンハイム市立音楽学校オーケストラと共演、フランス共和国元文化大臣トルットマン氏やストラスブルク総領事清水信介氏を含むべ1,200名の聴衆のスタンディングオーベーションを受けた。

日本経済新聞、琉球新報などにエッセイを掲載するなど、音楽のみならず広く教育に関する提言を続けている。

日本弦楽指導者協会理事・広報部副部長・沖縄県支部長。

出 演

ヴァイオリン 木野雅之 岡田光樹 天野智美 川平大貴 清水海歩 高原春樹 下地充爽希 糸数可菜 近藤花音

伊志嶺磯 宮川天 安井詩郎 翁長采音 清水海翔 新里美空 糸数康平 下地智子

富山るの 松本愛可 山内愛心 伊志嶺孝介 平良晋太郎 奥平真紀 糸数啓汰 竹内浩子

五來貴洋 柴田恵奈 松原倭花子 唐木田晴 金眞泰 黃暉喬 任書嫻 Kamolmas Charoensook

Polyiam Palitpolganpim Kwinthida Chainuvati Chon Tanchotikul Kan Chailapsiri

Anapat Vuthithanthaveekij Panaporn Tiypattanaputi Arisa Ruengprateepsang

Chawin Karnjanaphan Piraya Ranglak Plengporn Tanwanichsiri Hoi Khai Weing

Izzywan bin Musib Joanna Delight Ho May Sum Joey Young Lee Yan Xing

Azhad bin Sulaiman Debbie Johanna Ho Yan Yan Elle Chang Su Ting Low Zi Yang

Nathalie Kwan Nicole Leong Ka Yeng Than Jia Qing Timothy Song Soon Wern Shynn

南小学校ヴァイオリンクラブ

ヴィオラ 立木茂 Nithit Navarat 荒木千香子 Prin Sukhum Belinda Chong Bei Le Phoon Zu Ying

チェロ 長南牧人 洪薇婷 Apichai Leamthong Hung,Wei-Ting 松本響平 奥平圭 垣花拓省 伊志嶺磯

游捷茵 葉品岑 賀璽 丁昱彤 Arlene Karnjanaphan Chawanvit Vuthikornudomkit

Hoh Wei Tao Stanley Stephen Tseu Tze Jie

コントラバス 竹内洋伸

チェンバロ 大城伸悟